

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルリアルスポット相場は、ルセフ弾劾が成立し(但し、ルセフ陣営は上院の決定は無効であるとして最高裁に上訴している)、次のマーケットテーマを模索している中、ブラジル中銀が31日に公表した金融政策決定会合(COPOM)声明文を受けて一時3.26台前半までリアル安に振れる時間帯も見られたが、引けにかけては落ち着きを取り戻し、3.25台後半で取引を終えた。COPOMでは市場予想通り、政策金利Selicが全会一致で14.25%に維持されたものの、声明文の内容に微妙な変化が見られた。特に重要な変更点は、「金融緩和の余地はない」としていた箇所を、「金融環境の緩和は、金融政策運営の然るべき期間内にインフレ率を目標に合致させる、とりわけ17年に+4.5%の目標に達するとの確信を高める要因次第となる」の部分である。この修正自体は、前回COPOM対比、中銀が短期的な利下げの可能性に前向きであることを示唆していると考えられるが、利下げを実施するために掲げた3つの目標(財政再建策の議会承認と実施を巡る不確実性が低下すること、等)を踏まえると、中銀が容易に利下げを決断できるとも思えず、年内1回の利下げがあるかどうかでマーケットの見方が分裂する状態が続くと予想される。

格付会社Moody'sは昨日、ルセフ弾劾承認を受け、「企業信頼感という点ではポジティブである」との見解を示した一方、「具体的な財政改革は何も実現できていない」と警鐘を鳴らした。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月31日	9月1日	前日比	8月1日	1ヶ月前比
リアル	対ドル	BRL	3.2267	3.2573	+0.0306	3.2655	-0.0082
	対円	JPY	32.04	31.70	-0.34	31.35	+0.35
	対ユーロ	BRL	3.6004	3.6466	+0.0462	3.6460	+0.0006
円	対ドル	JPY	103.43	103.23	-0.2000	102.39	+0.8400
	対ユーロ	JPY	115.40	115.59	+0.19	114.30	+1.29
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	57,901	58,236	+335	56,756	+1,480
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	259.6	260.6	+1.0	292.9	-32.3
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	12.08	12.05	-0.03	11.78	+0.27
DI Future Apr17 (金利先物)		%	13.71	13.61	-0.11	13.68	-0.07
3 Months US Dollar Libor		%	0.839	0.839	+0.000	0.759	+0.080
CRB Index (国際商品指数)		Index	180.2	178.2	-2.0	178.2	+0.0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

